

南山大学大学院法務研究科



「人間の尊厳のために」を实践する法曹養成

1. 南山大学法科大学院の教育理念・目標

1 教育理念

南山大学の教育モットーである「人間の尊厳のために（Hominis Dignitati）」を法曹養成の領域で実践することを目指し、人間の尊厳を基本とした倫理観を身につけ、社会に貢献できる法曹の養成を教育理念としている。

2 教育目標

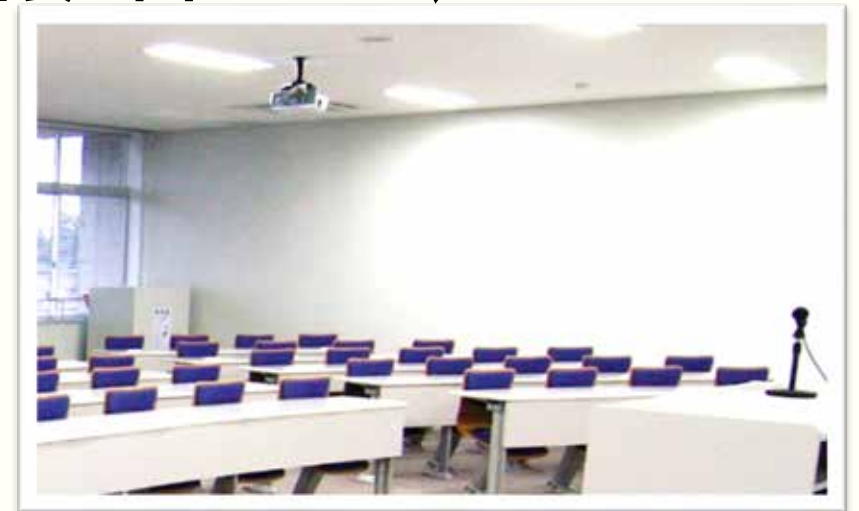
「人間の尊厳のために」を基本とした法曹に必要な基本的知識・能力を修得し、人権感覚をもつ社会に貢献できる法曹の養成のため、少人数制の下、きめ細やかな教育を行う。



2. 教育課程・内容の特色（1）

① 未修者教育の充実のために

- n 1年次における、憲法、民法、刑法の講義科目重点的学習
2年次以降に、他の法律基本科目の講義科目、法律基本科目の演習科目を配置
- n 憲法基礎研究・民法基礎研究・刑法基礎研究による基礎学力の定着
- n 法的思考方法に基づく文書作成能力の涵養を図るための、リーガルライティング
- n アドバイザー制との連携による学習支援
1・2年生ゼミで勉強の仕方、答案の書き方、基本書の選び方などをアドバイス



2. 教育課程・内容の特色（2）

2 論文作成能力をのばすために

- n 「演習」以外に「事例研究」科目による実践的学習
- n O B・O Gのアドバイザーによるケーススタディ

3 「人間の尊厳科目群」

（生命と法）（企業倫理と法）（歴史の視点）（哲学の視点）（犯罪被害者と法）

4 教育効果を高めるために

- n 少人数教育による授業
- n I T の活用による Self-LearningSystem の導入
W E B 上の自学自習システム
「T K C 法科大学院教育研究支援システム」と
法律基本科目の連動（授業理解度確認テスト）
- n 授業録画システム



3. 施設・サポート体制

1 充実した設備

- n 一人ひとりに専用のキャレルとロッカー
- n 法科大学院用教室、図書室、ラウンジ、模擬法廷

2 サポート体制の特色

- n 充実した給付奨学金制度
- n 指導教員制およびアドバイザー制による学生サポート体制の充実
- n 入学予定者を対象とした、入学者対象導入教育、学習ガイダンスの実施



4. 南山大学法曹実務教育研究センター

模擬医師尋問、法改正に関する研究会、短期エクスターンシップ

法曹実務教育の研究と実践

+

法科大学院を修了した法曹に
対する継続教育



5. 名古屋大学法科大学院との連携

競争的環境の下での学習

① 共同開講科目

「公法事例研究」

② 単位互換科目

南山大 名大 「地方自治法」「消費者法」「医療と法」

名大 南山大 「租税法」「少年法」「企業法務（ビジネス・プランニング）」





南山大学法科大学院は教員と院生のコミュニケーションを大事にしています。

詳しいことをお知りになりたい方はWebページをご参照ください。

(<https://depts.nanzan-u.ac.jp/grad/lis/>)

また、わからない点は、ご遠慮なく南山大学法務研究科事務室までお問い合わせください。